

様式3

公立大学法人静岡文化芸術大学

平成27事業年度に係る業務の実績に関する評価結果

平成28年8月

静岡県公立大学法人評価委員会

第1 公立大学法人静岡文化芸術大学の平成27事業年度における業務実績評価について

静岡県公立大学法人評価委員会は、「静岡県が設立する公立大学法人に係る評価基本方針」(H19.12.5制定)に基づき、平成27事業年度の業務の実績に関する評価を行った。

1 評価に当たっての基本的な考え方

- (1) 評価を通じて、大学の教育研究及び法人運営の進捗状況等を分かりやすく示し、県民への説明責任を果たしていくものとする。
- (2) 法人の教育研究並びに組織及び運営についての様々な工夫や特色ある取組を積極的に評価するものとする。
- (3) 次期中期目標・中期計画、法人の組織及び業務運営の見直しの検討に資するものとする。

2 評価方法

- (1) 年度評価は、「全体評価」と「項目別評価」により行った。
- (2) 「全体評価」は、(3)の項目別評価を踏まえるとともに、当該年度の重点的な取組や法人の特性等に配慮しつつ、中期目標・中期計画の全体的な進捗状況を総合的に判断した。
- (3) 「項目別評価」は、法人による自己点検・評価の結果を基に、当該年度計画に定めた項目ごと、年度計画設定の妥当性も含めて総合的に検証を行い、中期目標・中期計画の達成に向けた進捗状況を確認した上で、「大学の教育研究等の質の向上に関する目標」、「法人の経営に関する目標」、「自己点検・評価及び情報の提供に関する目標」及び「その他業務運営に関する重要目標」の4つの目標別に総合的に検証した。

第2 全体評価

1 評価結果と判断理由

(1) 評価結果

公立大学法人静岡文化芸術大学（以下「法人」という。）の平成27年度の業務実績に関しては、全体として「中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる」と評価する。

(2) 判断理由

法人は、静岡文化芸術大学が、豊かな人間性と的確な時代認識や社会認識を持ち、国際社会の様々な分野で活躍できる人材の育成と、“開かれた大学”として地域社会や国際社会の発展への貢献に取り組むよう計画を策定し、遂行している。

第1期中期目標期間の最終年度である平成27年度は、昨年度に実施した当評価委員会の評価において指摘した事項の改善に努めながら、中期計画及び年度計画の達成に向けて教職員を挙げて取り組むとともに、県が指示した第2期中期目標を基に第2期中期計画を策定するなど、着実に成果を上げた1年となった。

法人の中期目標・中期計画の達成に向けた業務の進捗状況について、「第3項目別評価」のとおり、「大学の教育研究等の質の向上に関する目標」、「法人の経営に関する目標」、「自己点検・評価及び情報の提供に関する目標」及び「その他業務運営に関する重要目標」の全ての項目について、「中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる」と認められ、これらの状況と平成27年度の重点的な取組や法人の特性等を総合的に勘案し、(1)のとおりの評価が相当と判断した。

(3) 平成27年度の重点的な取組

ア 教育内容の充実について

第1期中期目標期間の当初から準備を進めてきた新教育課程や、再編後のデザイン学部による教育を平成27年度から実施し、新旧教育課程の学生が混在する変則的な状況での講義編成や再履修の学生への対応など移行期間に伴う問題を解消しつつ円滑に運用したほか、高度な職業人の養成を目的とした「社会人専門講座」の平成28年度からの開設に向けた準備を行った。

イ 業務体制の整備について

- ・平成32年度に予定されている入試改革への対応及び第2期の重点目標である優秀な学生の安定的確保に向け、入学者選抜、広報、高校との連携等を組織的かつ迅速に実施するための入学試験・高校大学連携センター

の設置準備を行った。

- ・内部監査機能の強化を目的とした監査室を平成 28 年度に設置するための準備を行った。

ウ 広報の充実について

動画投稿サイトへの公式動画の公開や、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）※1を活用して学生募集の広報を改善するなど積極的な広報活動を行ったほか、保護者や卒業生等を対象として、広く大学の現状を周知するため、広報誌「碧い風」を創刊した。

2 評価に当たっての意見、指摘等

平成 28 年度から第 2 期中期目標期間が始まったことから、これまで積み重ねた取組を基に、第 1 期中期目標期間の評価を踏まえ、更なる飛躍を目指した法人運営を行っていくことを期待する。

今後の課題とした項目については、全学で問題意識を共有し、計画的に実現に向けて取り組んでいくことを期待する。

[参考]項目別評価の結果

1 大学の教育研究等の質の向上に関する目標	I 特筆すべき進捗状況	II 順調に進んでいる	III おおむね順調に進んでいる	IV やや遅れている	V 重大な改善事項がある
2 法人の経営に関する目標	I 特筆すべき進捗状況	II 順調に進んでいる	III おおむね順調に進んでいる	IV やや遅れている	V 重大な改善事項がある
3 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標	I 特筆すべき進捗状況	II 順調に進んでいる	III おおむね順調に進んでいる	IV やや遅れている	V 重大な改善事項がある
4 その他業務運営に関する重要目標	I 特筆すべき進捗状況	II 順調に進んでいる	III おおむね順調に進んでいる	IV やや遅れている	V 重大な改善事項がある

※1 SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス) : インターネット上の交流を通して、社会的ネットワークを構築するサービス。

第3 項目別評価

I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標

1 評価結果と判断理由

(1) 評価結果

大学の教育研究等の質の向上に関する目標の進捗状況は、「中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる」と評価する。

(2) 判断理由

大学の教育研究等の質の向上に関する目標について、当評価委員会が検証した結果、年度計画記載の61項目中3項目が「計画を上回って実施している」、58項目が「計画を十分に実施している」と認められ、これらの状況等を総合的に勘案し、(1)のとおりの評価に相当すると判断した。

(3) 特に評価する項目

- ・ 第1期中期目標期間の当初から準備を進めてきた新教育課程や、再編後のデザイン学部による教育を平成27年度から実施し、新旧教育課程の学生が混在する変則的な状況での講義編成や再履修の学生への対応など移行期間に伴う問題を解消しつつ円滑に運用した。
- ・ 選択必修科目として「地域連携実践演習」を導入し、学生が、行政、企業、学校、NPO等の現場での体験を通して、現実社会と関わりながら地域課題への理解を深める機会を充実させた。
- ・ 社会人が対象の高度な職業人の養成を目的とした「社会人専門講座」の平成28年度からの開設に向けた準備を行った。
- ・ 平成32年度に予定されている入試改革への対応及び第2期の重点目標である優秀な学生の安定的確保に向け、入学者選抜、広報、高校との連携等を組織的かつ迅速に実施するための入学試験・高校大学連携センターの設置準備を行った。
- ・ 修学サポート室について、改修工事を行った専用室に移転してプライバシーに配慮するなど学生が利用しやすい環境に整え、修学上の問題や精神面の問題を抱える学生への修学や生活支援の機能を充実した。
- ・ 授業料の減免について、年度途中の急変的事情により経済的に支障が生じた者についても対象とするよう制度を拡充し、学生が修学を継続できる体制を整えた。
- ・ 県からの受託事業や浜松市との共同研究など、地域の自治体が実施する事業へ積極的に協力したことに加え、浜松工業技術支援センターが主催する研究成果発表会、浜松市で開催されたビジネスマッチングフェアやユニバーサルデザインシンポジウム等において、研究成果や研究シーズ

を発表するなど、研究成果の地域への還元を継続した。

- ・ 派遣と受入れの双方型の留学プログラム「SUACグローバルリーダー養成留学プログラム」が独立行政法人日本学生支援機構の海外留学支援制度に採択され、留学費用の一部となる奨学金を獲得し、留学する学生へ給付した。
- ・ 国際交流活動の一環としてトルコ・イズミール経済大学と交流協定を締結し、同大学からの交換留学生を受け入れたほか、教員・学生を同大学へ派遣してデザイン・ワークショップを実施した。
- ・ 多文化共生推進のため、「多文化共生ワークショップ」を地域連携実践演習のプログラムの1つに組み込み、学生参加の実践的な活動として実施した。

2 評価に当たっての意見、指摘等

- ・ 文化政策研究科において、学生数が定員に満たない状況が続いていることから、定員の充足に向け、所要の対応を行っていく必要がある。
- ・ 独立行政法人日本学生支援機構の海外留学支援制度に採択され、また、新たに海外大学との交流協定を締結するとともに教員が海外での調査研究活動を実施するなど、国際交流活動を積極的に推進している点は評価できる。一方、協定校への派遣留学生が伸び悩んでいる。今後、国際交流についてさらなる強化を期待する。

[参考]小項目評価の集計結果

	評価対象 項目数	A 計画を 上回って実施	B 計画を 十分に実施	C 計画を十分に 実施できていない	D 計画を 大幅に下回る
1 教育	26	1	25	0	0
2 学生支援	10	0	10	0	0
3 研究	9	0	9	0	0
4 地域貢献	13	0	13	0	0
5 国際交流	3	2	1	0	0
合 計	61	3 (4. 9%)	58 (95. 1%)	0	0

II 法人の経営に関する目標

1 評価結果と判断理由

(1) 評価結果

法人の経営に関する目標の進捗状況は、「中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる」と評価する。

(2) 判断理由

法人の経営に関する目標について、当評価委員会が検証した結果、年度計画記載の24項目中3項目が「計画を上回って実施している」、21項目が「計画を十分に実施している」と認められ、これらの状況等を総合的に勘案し、(1)のとおりの評価に相当すると判断した。

(3) 特に評価する項目

- ・ 内部監査機能を強化するため、内部監査に係る職員の能力向上や監査手法の改善を図るとともに、監査室の設置に向けた準備を行った。
- ・ 消防設備や空調設備の管理水準や管理委託契約内容を見直し、経費削減策を実施したほか、空調機器等設備更新に当たりエネルギー使用量が少ない機種を導入するなどし、省エネを推進した。
- ・ 自動販売機の設置業者選定に当たり、業者から徴収する金額の算定方法を入札による方式に切り替えるなど、施設管理の方法を見直し自己収入の確保に努めた。

2 評価に当たっての意見、指摘等

教員に加えて職員についても活動評価制度が本格実施され、教職員それぞれの評価制度が整った。今後も評価項目の内容や結果の活用について引き続き検討を行い、教職員の意欲の向上に資する制度となるよう改善していくことを期待する。

[参考]小項目評価の集計結果

	評価対象 項目数	A 計画を 上回って実施	B 計画を 十分に実施	C 計画を十分に 実施できていない	D 計画を 大幅に下回る
1 業務運営の改善及び効率化	18	3	15	0	0
2 財務内容の改善	6	0	6	0	0
合計	24	3 (12.5%)	21 (87.5%)	0	0

Ⅲ 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標

1 評価結果と判断理由

(1) 評価結果

自己点検・評価及び情報の提供に関する目標の進捗状況は、「中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる」と評価する。

(2) 判断理由

自己点検・評価及び情報の提供に関する目標について、当評価委員会が検証した結果、年度計画記載の5項目中2項目が「計画を上回って実施している」、3項目が「計画を十分に実施している」と認められ、これらの状況等を総合的に勘案し、(1) のとおりの評価に相当すると判断した。

(3) 特に評価する項目

動画投稿サイトへの公式動画の公開や、SNSを活用して学生募集の広報を改善するなど積極的な広報活動を行ったほか、保護者や卒業生等に向けて、広く大学の現状を周知するため、広報誌「碧い風」を創刊した。

2 評価に当たっての意見、指摘等

ウェブサイトやSNSの活用に加え、新たな広報誌を創刊するなどの新たな試みは高く評価できる。今後も多様な媒体の有効活用について積極的な検討を続けていくことを期待する。

[参考]小項目評価の集計結果

	評価対象 項目数	A 計画を 上回って実施	B 計画を 十分に実施	C 計画を十分に 実施できていない	D 計画を 大幅に下回る
1 評価の充実	1	0	1	0	0
2 情報公開	2	0	2	0	0
3 広報等の充実	2	2	0	0	0
合計	5	2 (40.0%)	3 (60.0%)	0	0

IV その他業務運営に関する重要目標

1 評価結果と判断理由

(1) 評価結果

その他業務運営に関する重要目標の進捗状況は、「中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる」と評価する。

(2) 判断理由

その他業務運営に関する重要目標について、当評価委員会が検証した結果、年度計画記載の6項目中5項目が「計画を十分に実施している」、1項目が「計画を十分に実施できていない」と認められ、これらの状況等を総合的に勘案し、(1) のとおりの評価に相当すると判断した。

(3) 特に評価する項目

照明をLEDにするなど省エネを推進したほか、学生からの要望に基づき車いす利用者でも使いやすいよう施設の改修を行うなど、一層のユニバーサルデザイン化を進めた。

2 評価に当たっての意見、指摘等

大規模地震等が発生した場合に活用される安否確認システムの登録率が平成26年度に比べて低下している。防災対策を効果的に機能させるため学生の防災意識を高める取組を強化し、登録を促す必要がある。

[参考]小項目評価の集計結果

	評価対象 項目数	A 計画を 上回って実施	B 計画を 十分に実施	C 計画を十分に 実施できていない	D 計画を 大幅に下回る
1 施設設備の整備・活用等	1	0	1	0	0
2 安全管理	4	0	3	1	0
3 人権の尊重	1	0	1	0	0
合計	6	0	5 (83.3%)	1 (16.7%)	0